

市民の手による太陽光発電事業 市川市内に第1号発電所 「つなぐ・つながる発電所」稼働開始

2018年5月23日

わたしたち「NPO 法人 いちかわ電力コミュニティ」は、市民によるエネルギービジネスの実現をめざす、千葉県市川市発の NPO です。地域の活性化や住民の安全・安心、そして子どもたちの未来のために、太陽光などの再生可能エネルギーを普及するために、地域に根ざした活動を行っています。

これまで発電事業の準備を入念に進めてきましたが、このたび、市川市内の施設に太陽光発電を設置し、国の認可も無事に下り、5月16日に晴れて運転を開始する運びとなりました。

設置のために施設をご提供いただいたのは、市川市内で自立援助・児童発達支援をおこなっている社会福祉法人 一粒会様です。そのカーポートに太陽光パネル (5.4 kW) を設置しました。太陽光発電は燃料費なしでクリーンに電気を作り続けられますが、設置にはさまざまな諸費用がかかります。本事業は、事業の趣旨に賛同していただいた市民の方々や事業者がこの初期投資をサポートしていただくことで、実現に至りました。

太陽光発電の設置によって、電気代の節約を通じて、施設で生活をする子供たちを応援するとともに、CO₂を出さない環境にやさしい発電をすすめていきます。

施設のホーム長の方からは、「楽しみが増えたね」と施設の皆で話していることや、出費を切り詰めながら生活する子供たちからも「見ず知らずの方が応援してくれてありがたい」と感謝の声があがっていると話をうかがっており、市民が市内の施設と連携して、共に助け合う事業となっています。

昼間に太陽光によって発電された電気は、この施設でそのまま使っていただきます。いちかわ電力には、電気料金より少し安い定額の設備使用料金をお支払いいただき、社会福祉法人の運営を応援します。いちかわ電力は太陽光で発電した余った電気を電力会社に売電する収益とあわせ、投資回収をします。15年を経過したら設備は施設に寄贈する予定です。

(※) この施設には、児童自立支援ホーム「坂梨ホーム」(義務教育終了後の15~20才の家庭のない児童や家庭にいないことができない児童が入所し自立を目指す家)と児童発達支援事業所「結」(就学前の発達に遅れのあるお子さんが通う園)があります。



パネルを設置した施設の外観

太陽光発電の概要

設置パネル	5.4kW、ソーラーフロンティア住宅用太陽光発電システム GIS 太陽電池モジュール SF175-S 30枚
-------	---

● 詳細のお問い合わせ <http://ichikawapower.com/>

NPO 法人 いちかわ電力コミュニティ 理事長 齊藤 sarah4345@ybb.ne.jp